

はーとぶるメッセージ 2014

特選作品
紹介

2

※掲載している学年は
応募当時のものです

作文・小学生の部

みんなが人を思いやる

宮尾 香菜美さん
(城東小学校6年)

「人権」というと私は、みんなが人を思いやり、相手の良いところを見つけてあげようかなと思えます。

私の学校では、「人権ツリー」という活動をしています。自分がかん



ばったこと、友達がかんばっていいこと、友達にしてもらってうれしかったことを星型の紙に書き、ツリーを星でいっぱいにしていく活動です。この活動で、休み時間に仲の良い友達にもらったことや、他学年との交流で他の人が、がんばっていたことなど、いろいろな事が書いてありました。自分のことが書いてあると、とてもうれしい気持ちになるし、他の人に言われたり、良いことをしてもらったりすると自分が良い気持ちになって、また星に書いていくので、星がどんどん増えていきます。ツリーが星でいっぱいになれば、みんなが良い気持ちになれるかなと思います。

この活動を通して、私は、人を思いやるってやさしい言葉をかけたり、手伝ってあげたり助け合いながらがんばるのは、とても大切な事なんだなと思いました。ツリーを見ると、一枚一枚心がこもっていて、見ているだけでうれしい気持ちになれます。私のクラスでは、一人一人の誕生日にその人の良いところメッセージ

ジを書いて渡すという取り組みをしています。「人権ツリー」などで良いところを見つけているから、その人の良いところがスラスラと書けます。誕生日にそれをもらうと、自分では分からない自分の良さを知ったり、他の人の良いところがたくさん見つけられます。少し苦手だと思っていた人や、あまり仲良くなかった人も色々な活動を通して仲良くなった人、人とは、もっと仲良くなれたと思います。

この色々な活動を通して、人に良いことをしたり、してもらったり、人の良いところを見つけたりするの、とても大切な事なんだということを、改めて実感しました。

私は六年生なので、小学校最後の一年間です。ずっと同じクラスだった人もいるし、同じクラスになったことがない人もいますが、同じ学年として、今までたくさんの方と協力して生きてきました。そんな中でも一人一人のことを考えたり、みんなの良いところを見つけたりするこ

は、とても大切なことだと思います。これからも、人を思いやって良いところを見つけて、みんなともしっかり仲良くなっていきます。



選評

学校ぐるみの「人権ツリー」の取り組み。作者の言うように、互いのよさをツリーに飾ることで、みんなが気持ちよく生活できることは素晴らしいことです。また、学級での誕生日の活動にも触れ、自分自身が変わっていく様子を素直に表しています。相手の立場を考え、良いところを積極的に見つけていくことの大切さを教えてくれる作品です。

作文・小学生の部

ことばは大せい

高橋 颯介さん
(若葉小学校1年)

ぼくは、どうとくのじかに、ふわふわことばとちくちくことばについてけんきょうしました。ふわふわことばは、人をうれしきもちにさせることばで、ちくちくことばは、人をいやなきもちにさせることばです。ぼくは、ともだちに、うれしきもちになってもらいたいし、えがおになってもらいたいので、ふわふわことばをいっていいこととおもいます。ま、えをわいていたともだちに、「じょうずだね。」と、いったことが

あります。そのときに、ともだちはとてもうれしそうなおをしてくれました。人をほめることばもふわふわことばだとおもいました。ちくちくことばをいってしまってもあります。そのときは、あいてみきずいたとおもうし、ぼくもいやなきもちになりました。いなければよかったですとおもいました。ことばには、人をうれしくする力も、かなしくする力も持っていることがわかりました。

また、みみのきこえない人についてのけんきょうもしました。みみのきこえない人は、おとがきこえないので、じこにあったり、テレビのおとやうたや、人のこえがきこえないので、こまることがあるだろうなとおもっていました。

せんせいが、みみのきこえない人は、手でおはなししたりするといっていました。ぼくも手をおはえて、みみのきこえない人とおはなししてみたいなとおもいました。手わで、「おおきなうた」をなら

いました。すこしむずかしかったです。たのしかったです。たくさんけんきょうして、うたもいっしょにうたってみたいです。



選評

道徳の時間での言葉の学習や、耳の不自由な人の学習を通して、自分の生活と照らし合わせながらしっかりと考えるを持つことができました。作者が感じたように、言葉一つで人の気持ちを不愉快にさせたり勇気づけたりします。だからこそ、作者の望むようにふわふわ言葉や手話などを使い、様々な人と温かくつながっていくことを大切にしたいものです。

募集

＜内容＞パソコンを学ぶことによりより楽しく、活動的な生活を送れるようになることを目指します。スイッチを入れるところから始めます。＜講座内容＞パソコンの基本知識、インターネットの使い方、ワード・エクセルの基本操作など＜日時＞【前期】4月13日、同27日、5月11日、同25日、6月8日、同22日【後期】7月13日、同27日、8月10日、同24日、9月14日、同28日 いずれも月曜日(午前の部は午前10時～正午、午後の部は午後1時30分～同3時30分。どちらも同じ内容です)＜場所＞男女共同参画センター「ウィズ」講習室 ＜対象＞市内に在住・在勤・在学のパソコン初心者。前期・後期を連続して受講できる人 ＜定員＞午前・午後各10人(先着順) ＜費用＞各期5千円(別途テキスト代1,800円が必要) ※テキストは各期共通です。＜申込開始日＞4月1日(水)午前9時～＜申込＞1人1回3000円(0歳～就学前、要予約)＜申込・問い合わせ先＞男女共同参画センター「ウィズ」(〒522-0041 平田町670) ☎ FAX 24-3529 番 ※電話、FAXまたは直接窓口で申し込んでください。